

第7回連続公開フォーラム「未来につなぐ証言」

【開講あいさつ】連続公開フォーラム「未来につなぐ証言」は、東京大空襲をはじめとする都市無差別爆撃の被災者の証言や当時の記録映画などを通じて、法廷での闘いとはまた異なるチャンネルで、都市空襲の恐ろしさを一般の人たちや学生など若い世代に広く知ってもらうことを主な目的にした都市空襲入門講座です。と同時に、現代に至っても絶え間なく続く都市空襲の連鎖を断ち切る方法はないものか。また空襲の悲惨さや被災者の心の痛みを次世代にどう伝えていけばいいのかも開講にあたって念願としています。

講座は2010年9月からスタート。空襲体験者の声を聞く5回連続のパートⅠに続き、パートⅡは空襲の恐ろしさを描き出した優れたドキュメンタリー映画などを鑑賞、映像による”証言”と講師のお話から空襲の歴史をともに考える場にしようと企画しました。

日時：9月25日（日）午後1時から（開場は午後零時半）

会場：大阪経済法科大学東京麻布台セミナーハウス・2階大研修室（港区麻布台1の11の5、電話03・5545・7789）
地下鉄・日比谷線・神谷町駅下車／1番出口。桜田通りを東京タワー方面へ徒歩5分



重慶爆撃のドキュメンタリー映画を上映

講師：伊香俊哉さん
（都留文科大学教授、専攻＝日本近現代史・日中関係史・国際関係史）

演題：「日中戦争の中の重慶爆撃と戦略爆撃の歴史」

【内容】1939年春から1941年夏までの3年にわたって、日本軍は中国奥地の重慶という都市に約200回もの爆撃を行った。日本はなぜ重慶に執拗な爆撃を行ったのかを日中戦争の展開の中で考えていきたい。また戦略爆撃という考えに基づいて展開された重慶爆撃や連合国による対独爆撃・対日爆撃がどのような結果をもたらしたのかも考えていきたい。

資料代：500円（学生・高校生300円、中学生以下は無料）

主催・都市空襲研究会 協力・東京大空襲訴訟原告団

◆連絡先 東京大空襲訴訟原告団◆

東京都墨田区押上1の33の4の102 TEL・FAX 03(3616)5531